

ハクセル美穂子のポリティカル・テーマ

100年先も

「いわて」が「いわて」であるように、
みんなで創る「いわて」

岩手県議会議員

ハクセル美穂子

いわて県政レポート

2019
夏号

Growing
Together!
みんなで創る「いわて」

ハクセル美穂子 これまでの活動

ハクセル美穂子、
これまでの4年間を振り返って

平成27年の9月に滝沢選挙区
トップ当選で岩手県議会に送って
いただいていた早4年の月日が経とう
としています。

もともと行政職(雫石町役場で
8年勤務)で働いていた経験はあり
ましたが、町と県の予算規模の違
いに圧倒され、また、県が主体とし
て行っている市町村では行っていない
業務、例えば警察業務や児童相
談所、保健所の運営など、様々な行
政のしくみを必死に勉強し続けた
4年間でした。

いわて県民クラブという会派に
所属し、同僚議員4名(一関選挙
区:飯沢匡(会派代表)、八幡平選
挙区:工藤勝博、奥州選挙区:佐々
木努、盛岡選挙区:千葉絢子)と共
に、常に是々非々の姿勢で議会活動
に取り組みました。頼もしい先輩
方の叱咤激励のもと、一般質問へ4



緊張で迎えた初めての一般質問

回登壇し、1
期目でありな
がら「決算特
別委員会」、
「予算特別委
員会」で総括
質疑の機会も
いただきました
。たくさんの質問機会をいただ
き、質問を重ね、「定期予防接種事
業の広域化」「病児保育事業の広域
化」「県庁内保育所の設置」の3つの
政策が実現いたしました。



ドイツのDESY施設見学

さんのお力添えと、実際の業務執
行を担う岩手県庁の執行部、関係
機関の皆さんのご理解とご努力が
あつて達成でき
ました。皆さ
ん、本当にあり
がとうござい
ました。4年間
のご支援に心か
ら感謝を申し
上げます。

ハクセル美穂
子は、これからも、共働き・子育て
中という自分自身の等身大の悩み
や、皆さんのご意見を一つでも多く
実際の政策へ反映させることに努
力し、生きる喜
びを感じられる
岩手県づくりを
進めていきま
す。



議連・滋賀県議会にて



いわて県民クラブのメンバーと

今後とも、母
ちゃん県議「ハ
クセル美穂子」
をよろしくお願
いします!

母ちゃん県議、四年の歩み

美穂子さん、本音を聞いてもいいですか？

質問①：四年前、議員になろうと思った本当のきっかけ(エピソード)は？

ハクセル：最初に出馬を決意したのは8年前でした。当時、私は専業主婦で3人の息子の**子育てに孤軍奮闘**していました。子育て中の家庭の状況を、社会は、行政は本当にわかっているのか？同じ状況の**女性の生の声**を何とかして**行政に届けたい**と出馬を決意しました。「このチャンスは、君だけのチャンスではないよ。女性全体のチャンスなんだから、挑戦できる人が挑戦するべきだ。ボクは、主夫になってフルパワーで君の挑戦を応援する。」という夫の言葉に後押しされたことが決め手となりました。



消防演習にて親子でラッパ隊

質問②：議員になって、最初に感じたことは？

ハクセル：県議会では、私が想像したよりも**しっかりと踏み込んで**いろいろな議論がされていました。でも、議論の内容が専門的で法律とか制度とか、そういったものの議論はこんなにわかりづらいのか！と私自身おどろき、焦り、もう**必死に勉強の日々**でした。町役場の職員時代に財政係で仕事をしていたことがあったので、予算編成など経験はありましたが、なにせ規模が違いすぎて。雫石町の100倍の予算規模なので、最初は、いつも桁を間違いそうになっては、10億とか100億とか桁をかぞえながら予算書を見ていました。

質問③：一般質問で聞いたことはあるけど、どんなことを質問するの？やってみて苦労したことはなんですか？

ハクセル：一般質問は、議員それぞれが課題ととらえている**県政に関わること**、何でも質問ができます。他の

委員会では、例えば予算特別委員会なら予算のこと、東日本大震災津波復興特別委員会なら震災復興に関係したと質問できる課題が限定されています。苦労したのは、30分間でほしい**9000字の質問原稿**をまとめること、返ってくる答弁を予想しながら何パターンかシュミレーションして、再質問を考えること、そして、課題の中身をよく知らない有効な再質問ができないので、必死に勉強することです。勉強の時間も入れて、ほしい一カ月程度の時間をかけながら質問を作っていきます。一般質問作成期間中は、子どもたちの悩みも聞いてあげられないくらい、**必死です**。



長男は無事小学校卒業

質問④：この四年間で見てきた岩手の課題と展望について教えてください。

ハクセル：当選当初の話題は、**震災復興**が主でした。そして、台風10号災害復旧も加わり、いかに災害復旧建設工事をこなししていくのか、財源をどう確保していくのか、が大きな議論の中心でした。大きな建設工事は終わりに近づいていますが、商売の部分である「なりわいの再生」がまだ道半ば。仮設に最後まで残らざるをえなかった方々をどう支援していけばいいのか、難しい課題が残っています。

二つ目の課題は、人口減少への対策です。東芝メモリの工場建設が決まるなど、北上エリアに工場がたくさん建設されるようになったのは、明るい傾向ですが、その反面、北上エリアへ人口が集中し始め、都市一極集中の問題が県内でも進んでしまいました。

人口減少によって、教育にも影響が及んでいます。**小規模な高校**はさらに小規模になり、地元の雫石高校も一学年1クラスになりました。何とかこの状況を打破したいと考えていた時に視察した京都の清明高校が私に閃きを与えてくれました。単位制の昼間定時制高校で、

300人規模の生徒のうち4割以上が中学校で不登校だった子どもたちが通う高校です。スクールカウンセラーが重点的に配置されていて、生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育を実践していました。こういう高校が岩手にもほしい！と強く感じ、**多様な教育機会**の確保のための基盤強化を私の政策にしよう！と決意しました。岩手県にも昼間定時制の高校がありますので、ここで培ったノウハウを地方部の高校に組み入れて、今までにない子どもたちの個性を活かす高校のあり方を探していきます。

第三に持続可能な産業振興が急務です。これまで、後継者の確保は農業分野での課題でしたが、同様の理由で県内中小企業の事業継承が進まず、黒字倒産という事態も増えてきています。農林水産業も中小企業も、持続的に稼いでいくためにはどんな経営規模であっても経営が発展するために必要な事を学び、**経営体力のある企業**を作っていくことが大切です。これを解決するために、農林水産業と製造業が連携し、企業規模での6次化を図る「地域食産業クラスター」をつくり、持続可能な産業振興を進めたいと考えています。

質問⑤：これから、どんな議会にしたい？

ハクセル：私が議員になったきっかけである「**県民の生の声を県政に届けたい**」という思いを実現するには、今ある課題をどう解決していくべきかを、当事者である県民と議員が話し合える場をさらに作っていくことが大切です。また、当事者である人が議員になることで、例えば子育て中とか介護中とか実体験も踏まえた質問や提言ができることも県民のニーズにお応えできる県政を進めるためには重要なことです。その為には、いろいろな立場の方が議員になれる環境の整備をすることが大切です。また、議会の役割を分かりやすくお見せする方法を工夫して、**県民の皆さんのご意見が反映されやすい議会づくり**を進めることも私たち議員の重要な仕事であると考えています。



四男も無事小学校入学

2019夏号コラム
COLUMN

ハクセル美穂子のこれから取り組みたい重点政策発表!!!

「生きる喜びを感じられる岩手に！」を目標に活動を進め、これまでの4年間で子育て関連施策3つを実現できました、これからも政策を充実させてさらに取り組みを進めていきます。私がこれから重点的に取り組む政策をご紹介します。

2019 ハクセル美穂子の政策

学ぶ

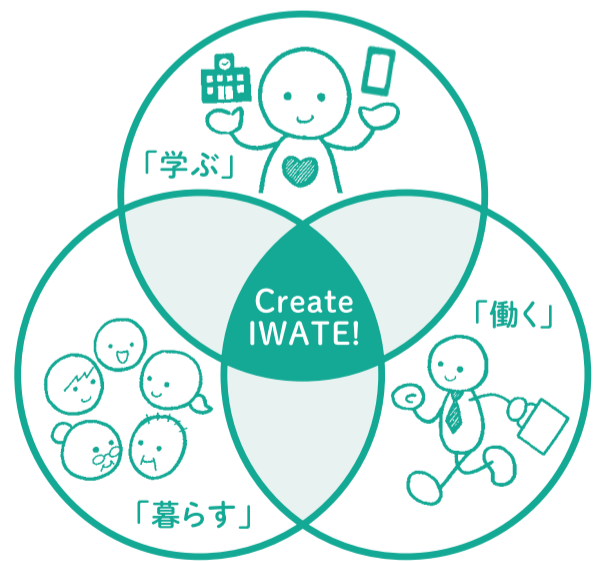
- ◎インターネット等新しい技術を活用して、いろいろな理由で学校に登校していない子どもたちの教育機会をつくれます。
- ◎地域資源を利活用し、多様な子どもたちの個性に合わせた学び場のある「通いたくなる高校」をつくり、小規模高校の維持に取組みます。
- ◎ILCの誘致実現により、岩手の英語教育の向上と数学、科学への理解促進に取り組めます。

暮らす

- ◎岩手県内高校卒業までの医療費補助制度を創設し、子どもたちの健康と子育て世代の家計を助けます。
- ◎少子化対策県民税と第3子出産時100万円お祝い金制度を創設し、少子化の進行に歯止めをかけます。
- ◎子育て期に一定期間移住できるサテライト・オフィスの誘致を進め、交流人口増加を図り、移住定住政策を推進します。

働く

- ◎一般事業主行動計画を策定した企業に対する産休、育休、介護休暇取得時の代替人材の確保を支援します。
- ◎農×商×工×学術機関を連携し、地域全体がかかわる新たな6次化のしくみ「地域食産業クラスター」をつくれます。
- ◎農業産出額3000万円規模の農業者の育成を強化、雇用就農の環境整備を進め、新規就農者を確保します。



ハクセル美穂子プロフィール

昭和50年3月6日 雫石町生まれ
 家族/アメリカ人の夫、4人の息子(中1、小5、小4、小1)
 職業/英会話教室経営
 趣味/読書、フラワーアレンジメント、散歩、博物館めぐり
 学歴/雫石町立御明神小学校[S62卒]・雫石町立雫石中学校[H2卒]・盛岡第四高等学校[H5卒]・岩手大学農学部[H9卒]
 経歴/平成9年 雫石町役場入庁
 平成17年 夫とともにアメリカへ移る
 平成18年 (株)Shady Grove Intl設立 代表取締役就任
 平成27年 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区初当選



岩手ですっと生きていくために、生きる喜びを感じられる岩手にするために、皆さんからたくさんのご意見を頂きながら、県議会で「未来につながる議論」を沸きおこします！

用語解説

- ※食産業クラスター：地域の食材、人材、技術その他の資源を有効に結び付け、新たな製品、販路、地域ブランド等を創出することを目的とした集団。食産業クラスターの形成により、地域の食品産業と農林水産業との連携の促進が図られる。
- ※一般事業主行動計画とは：事業主が従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備や、子育てをしていない従業員も含めた多様な労働条件の整備などに取り組む際に、①計画期間、②目標、③目標を達成するための対策の内容と実施時期、を具体的に盛り込み策定できる計画。従業員数101人以上の企業は策定しなければならないと次世代育成支援対策推進法で定められている。(100人以下は努力義務。)
- ※サテライトオフィスとは：企業本社や、官公庁・団体の本庁舎・本部から離れたところに一部分離して設置されたオフィスのこと。本社等を中心としてみた時に衛星(サテライト：英語)のように離れたところに存在するオフィスという意味。